

決算跨ぎお勧め度（★5段階） 過去5年の同じ四半期の決算翌日の値動き、業績修正のクセ、前回決算以降の株価、バリュエーション、業界・関連銘柄の5項目から判定。★3が中立。

今回の分布 ★5：1銘柄（日本車輛製造）／★4：3銘柄（テセック、日東電工、日本高純度化学）／★3：3銘柄（信越化学工業、山崎製パン、横河ブリッジHD）／★2：4銘柄（カプコン、キャノン、MARUWA、オービック）。各社の詳細は2ページ目以降のレポートを参照。

選定銘柄	発表・決算	決算跨ぎ評価	評価のポイント	連動銘柄	連動理由
7102 日本車輛製造 インフラ（鉄道）	10/27 15:40 2Q決算 時価総額 550億	★★★★★ 5/5	1Q進捗33.8%（前年20.5%）で22%減益の計画は保守的。2Q決算で通期を上方修正する年が多く、直近2年の翌日は+5.2%・+14.7%。PER7倍台・PBR0.6倍台。	9022 JR東海 6501 日立 7012 川崎重工	親会社で主要顧客。2Q決算は10/28 鉄道車両・システム。2Q決算は10/28 鉄道車両の同業。2Q決算は11/10
6337 テセック 半導体	10/27 15:30 2Q決算 時価総額 181億	★★★★★ 4/5	1Qで通期予想の39.8%に到達、コンセンサスは11.5%上。2Q決算で修正するのが通例。ただ翌日の値幅は平均±12%、信用倍率1,103倍と需給は重い。	6857 アドテスト 7729 東京精密 6855 日本電子材料	半導体テスト装置の大手。2Q決算は10/28 検査装置（ブローバ）。2Q決算は11/4 ブローブカード。2Q決算は11/10
6988 日東電工 電子部品・AI	10/27 16:00 2Q決算 時価総額 2.4兆	★★★★★ 4/5	通期予想を5回連続で上方修正中で、上期予想はコンセンサス超え。2Q決算の翌日は上3・下2。株価は1Q発表日比+4.7%と過熱感なし。	4062 イビデン 4203 住友ベーク 4980 デクセリ	AIサーバー向け部材。2Q決算は10/29 電子材料の同業。2Q決算は11/4 機能性フィルムの同業。2Q決算は11/11
4973 日本高純度化学 半導体（めっき薬品）	10/27 16:00 2Q決算 時価総額 255億	★★★★★ 4/5	2Q決算の翌日は上4・下1。PERは過去5年で最低水準、利回り5%台。ただ1Q進捗15.3%で、金高による利益率低下から下方修正リスク。	4062 イビデン 4186 東京応化 4971 メック	パッケージ基板でめっきの需要先。2Q決算は10/29 半導体向け高純度薬品。3Q決算は11/10 基板向け表面処理薬品。3Q決算は11/11
4063 信越化学工業 半導体（素材）	10/27 15:30 2Q決算 時価総額 11.5兆	★★★★★ 3/5	通期予想は期中に動かさず、2Q決算の翌日は平均±2.8%と小動き。株価は1Q発表日比-13.7%で期待は剥落。信越ポリマーの上方修正は追い風だが信用倍率18倍。	7970 信越ポリマー 3436 SUMCO 4186 東京応化	子会社。10/26に2Q決算済み、半導体容器好調で上方修正 ウエハーの競合。3Q決算は11/11 フォトリソの競合。3Q決算は11/10
2212 山崎製パン 食品	10/27 15:30 3Q決算 時価総額 8,679億	★★★★★ 3/5	過去3年は毎年期中に上方修正、PERは過去5年で低く信用倍率0.64倍。ただ株価は2Q発表日比+17%の高値圏で、翌日の値幅は平均±7%。	2211 不二家 2002 日清製粉G 2229 カルビー	子会社。10/26に3Q決算済み、原材料高で下方修正 小麦粉大手で原材料が共通。2Q決算は10/28 菓子・食品の同業。2Q決算は11/6
5911 横河ブリッジHD インフラ・建設	10/27 15:30 2Q決算 時価総額 1,263億	★★★★★ 3/5	買収で売上38%増・経常18%減益の計画、コンセンサスは9.6%上。株価はレンジで期待も失望もなし。PBR1倍割れ・利回り4%台。	3443 川田テク 1801 大成建設	橋梁の同業。2Q決算は11/10 公共インフラ投資が共通。2Q決算は11/11
9697 カプコン ゲーム／IP	10/27 15:40 2Q決算 時価総額 2.3兆	★★★★★ 2/5	1Qで通期予想の49.9%だが、通期は本決算直前にしか修正しない。2Q決算の翌日は5年で4回下落の出尽くし型。株価は1Q発表日比+23%。	3635 コーエーテク 9684 スクエニHD 7832 バンナムHD	10/26に2Q決算済み、通期21%上方修正・増配 国内ゲーム大手。2Q決算は11/11 ゲーム・IP。8/6に1Q決算済み、2Qの日程は未発表
7751 キャノン 半導体・FA	10/27 15:30 3Q決算 時価総額 6.6兆	★★★★★ 2/5	3Q決算の翌日は5年すべて下落（平均-4.8%）、3Qは2年連続で下方修正。株価は高値圏。円安で営業0.8%の上振れ余地、PERは低め。	8060 キャノンMJ 7731 ニコン 7752 リコー	販売子会社。10/26に3Q決算済み、経常21%増 露光装置・カメラの競合。2Q決算は11/5 複合機の同業。2Q決算は11/6
5344 MARUWA AI・半導体	10/27 15:30 2Q決算 時価総額 5,742億	★★★★★ 2/5	1Qで上方修正済みだが、上期予想には7-9月期に1Qの1.3倍の利益が必要。決算当日の値幅は平均±6.6%。8月高値から-25%も信用倍率23.9倍。	6981 村田製作所 5334 日特陶 6971 京セラ	電子部品大手、AI・通信向けが連動。2Q決算は10/30 セラミックスの同業。2Q決算は10/30 セラミック部品の同業。2Q決算は11/2
4684 オービック AI・IT	10/27 15:30 2Q決算 時価総額 3.0兆	★★★★★ 2/5	通期予想を期中に修正しない会社。株価は1Q発表日比+45%と一本調子で上昇し、10/21の観測報道で好決算は織り込み気味。PSR20倍。	4733 OBC 4768 大塚商会 3626 TIS	会計ソフトの同業。同じ10/27の15:00に2Q決算 法人向けIT。3Q決算は10/30 Sler大手、IT投資が共通。2Q決算は11/4

決算跨ぎお勧め度

★★★★★

5 / 5

理由は右のサマリー

サマリー

決算パターン

2Q決算の翌日は過去5年で上2・下1・横ばい2。直近2年は+5.2%、+14.7%と大きく上昇し、通期を一転増益に上方修正した2025年が最大。2Q決算で通期を上方修正する年が多い（直近3期で2回）。

通期修正の可能性

1Q経常31億円は通期予想93億円の33.8%（前年20.5%）。今期は前期比22%減益の計画だが、前期は期初59億円→実績120億円と2倍で着地。鉄道車両の堅調と鉄構の採算改善が続けば、2Q決算での上方修正余地は大きい。コンセンサスはなし。

前回決算以降の値動き

1Q決算（7/28）の翌日は-10.4%と好決算でも売られたが、その後3,330〜3,880円で推移し、決算前は3,750円と1Q発表日比-2.2%。期待はそれほど高くない。

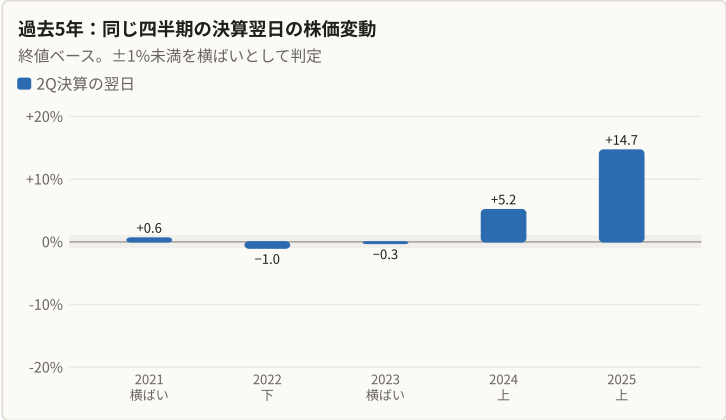
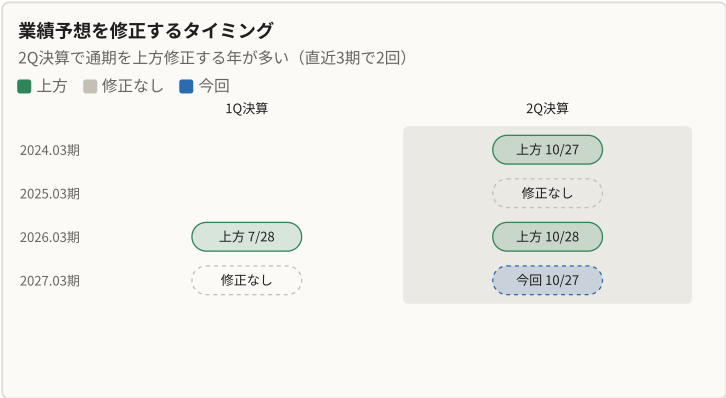
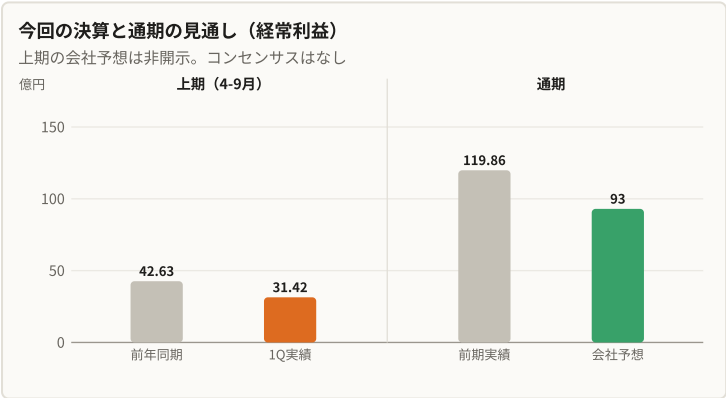
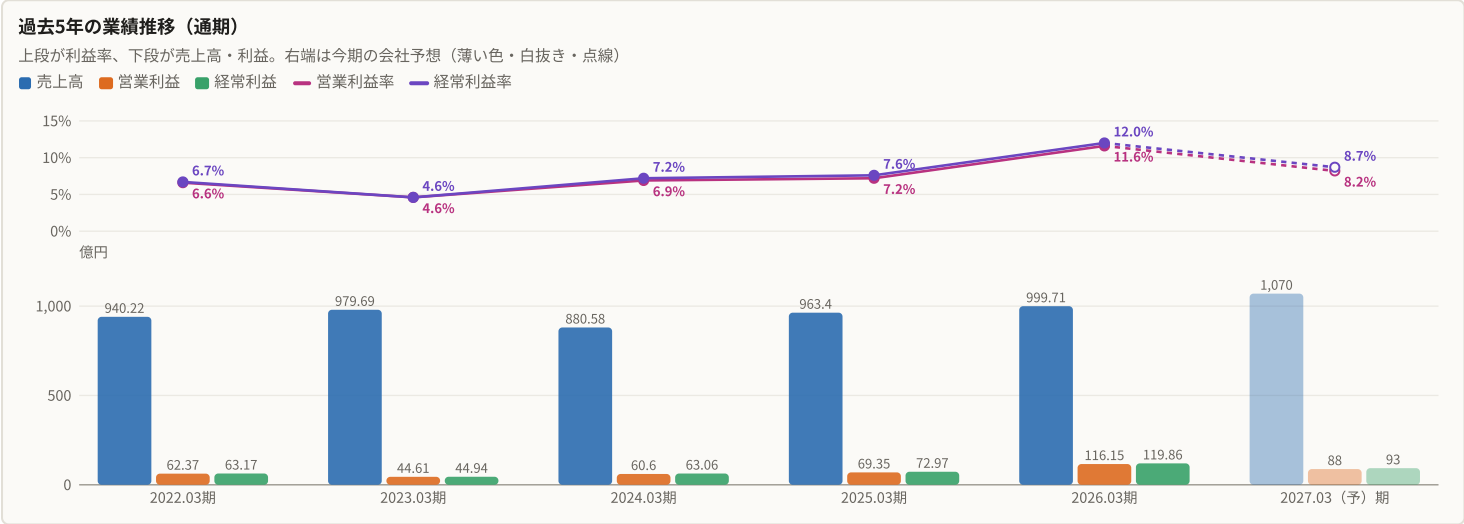
バリュエーション

PER7倍台・PBR0.6倍台と割安で、PERは自社の過去5年で中位（相対48.1）。

業界・関連銘柄

親会社のJR東海が10/28に2Q決算。鉄道車両を手がける日立は10/28、川崎重工は11/10に決算。

株価	PER（予）	PBR	PSR（予）	配当利回り（予）	信用倍率	想定為替レート
3,750.0円	7.2倍	0.64倍	0.51倍	1.33%	7.91倍	—



出典：マネックス証券 銘柄スカウターライト（業績・コンセンサス・PER水準）、株探（株価指標・ニュース）、株予報Pro（業績修正履歴）、Yahoo!ファイナンス（株価）、各社開示。想定為替レートは前回決算の決算短信・説明資料に記載された前提レート（記載がない会社は「—」）。翌日変動の「推定」は決算日の記録が見つからず、例年の発表日と出来高の急増から推定した年。決算跨ぎお勧め度は過去の決算での値動き・業績・業界動向から採点した参考値で、売買を推奨するものではありません。

決算跨ぎお勧め度

★★★★★

4/5

理由は右のサマリー

サマリー

決算パターン

2Q決算の翌日は過去5年で上3・下2、幅幅は平均±12.0%と非常に大きい。2Q決算で通期を修正するのが通例（直近3期とも修正）で、上方修正の2025年は+10.6%、一方で上方修正でも2023年は-12.6%と反応は割れる。

通期修正の可能性

1Q経常5.2億円で通期予想13億円の39.8%に到達（前年3.8%）。上期コンセンサス8億円には7-9月期2.8億円で届く計算で、通期コンセンサス14.5億円も会社予想を11.5%上回る。2Q決算での再度の上方修正が有力。

前回決算以降の値動き

1Q決算の翌日は+14.5%（MAPハンドラの大幅増）。10/9に4,140円まで上昇後、AI関連株安で3,040円まで急落し、決算前は3,250円（1Q発表日比+49%）。高値からは21%調整済み。

バリュエーション

PERは自社の過去5年で低い水準（相対10.9）。ただ信用倍率は1,103倍と買い残が極端に積み上がり、好決算でも上値では戻り売りが出やすい。想定為替1ドル160円（2Q以降）に対し足元は157円台（10/26）で約3円の円高。同社の感応度（1円で営業利益2,000万円）で単純計算すると、通期営業予想11億円は10.5億円となり4.9%の下振れ。経常でも13億円が12.5億円となり、コンセンサス14.5億円にはなお2億円届かない。

業界・関連銘柄

半導体テスト装置のアドバンテストが10/28に決算。パワー半導体やAI向けICの検査需要が回復。東京精密は11/4、日本電子材料は11/10に決算。

株価

3,250.0円

PER（予）

15.8倍

PBR

1.15倍

PSR（予）

2.59倍

配当利回り（予）

3.08%

信用倍率

1103.00倍

想定為替レート

160円/ドル（1Q短信・2Q以降）

過去5年の業績推移（通期）

上段が利益率、下段が売上高・利益。右端は今期の会社予想（薄い色・白抜き・点線）

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 営業利益率 ■ 経常利益率

2022.03期

2023.03期

2024.03期

2025.03期

2026.03期

2027.03（予）期

27.5%

23.3%

28.7%

24.4%

24.8%

20.1%

11.4%

7.4%

10.1%

5.4%

18.6%

15.7%

75.1

17.5

20.6

87.4

21.3

25.1

86.2

17.3

21.4

58.9

4.3

6.7

55.7

3.0

5.6

70.0

11.0

13.0

今回の決算と通期の見通し（経常利益）

上期の会社予想は非開示。1Qで通期予想の39.8%に到達

億円

上期（4-9月）

通期

前年同期

1Q実績

コンセンサス

前期実績

会社予想

コンセンサス

3.0

5.2

8.0

5.6

13.0

14.5

業績予想を修正するタイミング

2Q決算で通期予想を修正するのが通例（直近3期とも修正）

■ 上方 ■ 下方 ■ 修正なし ■ 今回

1Q決算

2Q決算

3Q決算

2024.03期

2025.03期

2026.03期

2027.03期

上方 10/31

下方 10/29

上方 10/28

今回 10/27

修正なし

上方 1/28

上方 1/27

1Q決算から今までの株価

終値ベース。点線は1Q決算発表日（7/28）の終値

① 7/28 1Q決算（通期経常を2.2倍に上方修正）

② 10/9 4,140円まで上昇

③ 10/15 AI関連株安で-9.6%

8/1

9/1

10/1

過去5年：同じ四半期の決算翌日の株価変動

終値ベース。±1%未満を横ばいとして判定

■ 2Q決算の翌日 ■ 決算日を推定した年

2021 下

2022 上

2023 下

2024 上

2025 上

-8.4

+20.6

-12.6

+7.7

+10.6

出典：マネックス証券銘柄スカウターライト（業績・コンセンサス・PER水準）、株探（株価指標・ニュース）、株予報Pro（業績修正履歴）、Yahoo!ファイナンス（株価）、各社開示。想定為替レートは前回決算の決算短信・説明資料に記載された前提レート（記載がない会社は「—」）。翌日変動の「推定」は決算日の記録が見つからず、例年の発表日と出来高の急増から推定した年。決算跨ぎお勧め度は過去の決算での値動き・業績・業界動向から採点した参考値で、売買を推奨するものではありません。

決算跨ぎお勧め度

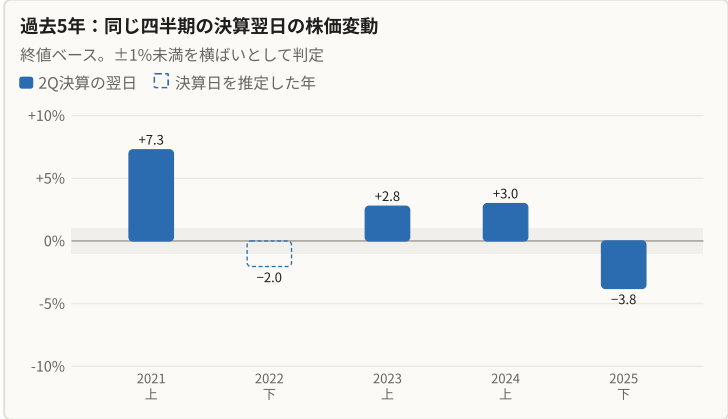
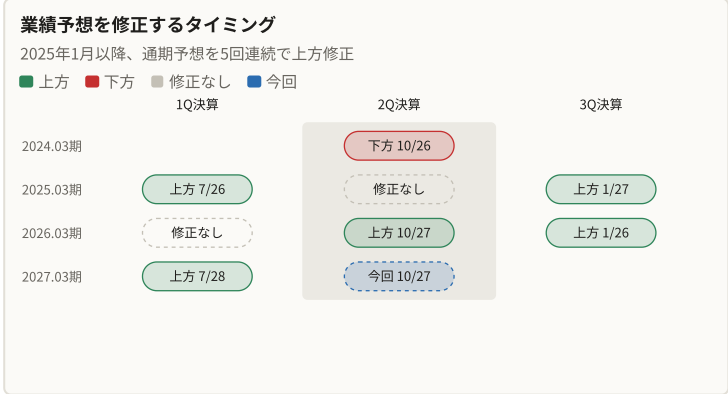
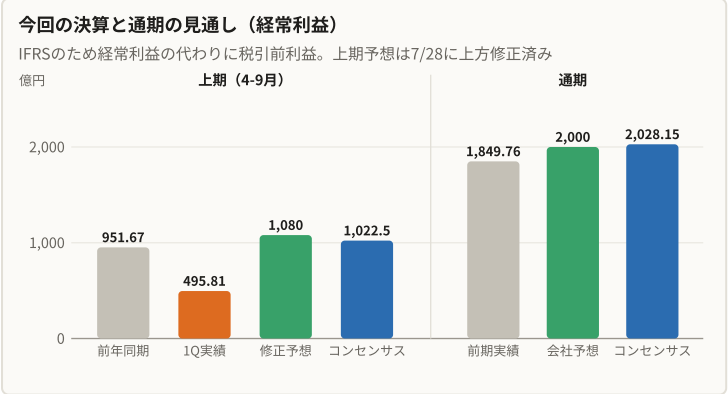
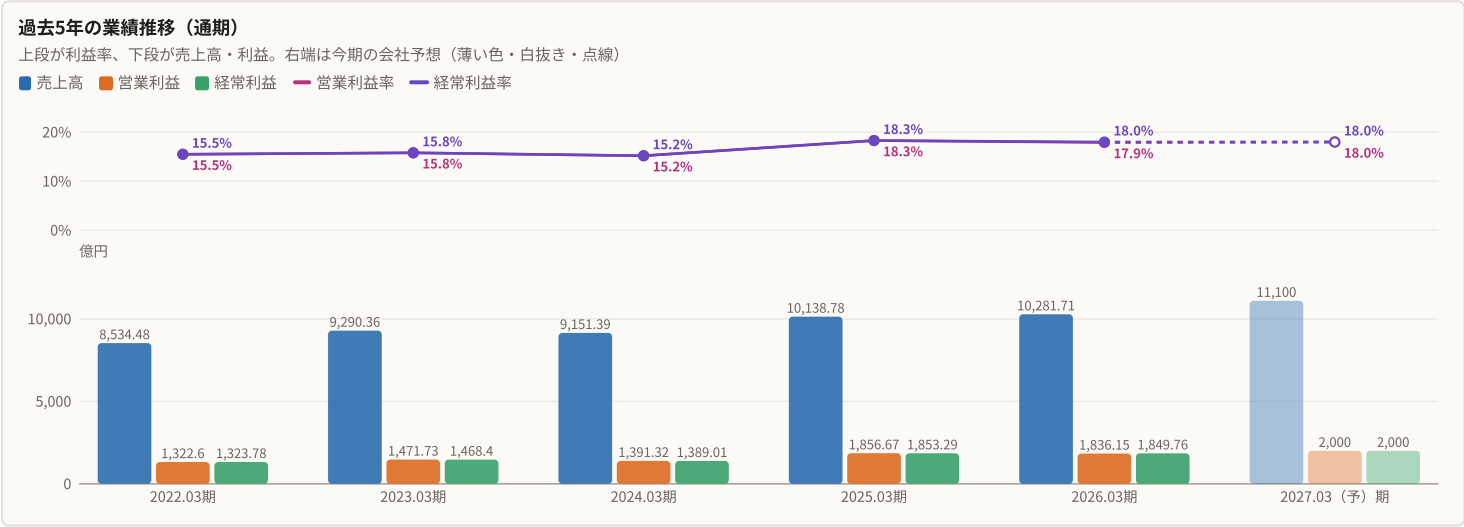
★★★★★

4 / 5

理由は右のサマリー

サマリー	
決算パターン	2Q決算の翌日は過去5年で上3・下2、平均+1.4%（値幅は平均±3.8%）。通期を1,500→1,400億円に下方修正した2023年も+2.8%と、悪材料にも底堅い。
通期修正の可能性	2025年1月以降、通期予想を5回連続で上方修正（直近は7/28に1,930→2,000億円）。上期予想1,080億円はコンセンサス1,023億円を上回るが、1Q実績496億円に対し7-9月期に584億円が必要とハードルはやや高い。通期コンセンサス2,028億円と会社予想の差は1.4%と小さい。
前回決算以降の値動き	1Q決算（7/28）の翌日は+3.0%。9月上旬に3,175円まで調整後、自社株消却の発表（10/1）を挟んで戻し、決算前は3,608円と1Q発表日比+4.7%。過度な期待は乗っていない。
バリュエーション	PERは自社の過去5年で中位（相対59.3）。想定為替は通期1ドル158円（7-3月は160円）に対し、足元は157円台（10/26）で下期は約3円の円高。感応度は開示されておらず試算はしないが、1Qは円安で営業利益が87億円押し上げられており、為替の追い風は弱まる。
業界・関連銘柄	スマホ向け光学フィルムやHDD用回路材、半導体工程材料が主力で、AIサーバー向けの需要も追い風。米ブラックロックの保有比率が上昇（10/26報告）。イビデンは10/29、住友ベークは11/4、デクセリアルズは11/11に決算。

株価	3,608.0円	PER（予）	16.7倍	PBR	2.07倍	PSR（予）	2.16倍	配当利回り（予）	1.77%	信用倍率	4.54倍	想定為替レート	158円/ドル（1Q資料・通期）
----	----------	--------	-------	-----	-------	--------	-------	----------	-------	------	-------	---------	------------------



出典：マネックス証券 銘柄スカウターライト（業績・コンセンサス・PER水準）、株探（株価指標・ニュース）、株予報Pro（業績修正履歴）、Yahoo!ファイナンス（株価）、各社開示。想定為替レートは前回決算の決算短信・説明資料に記載された前提レート（記載がない会社は「—」）。翌日変動の「推定」は決算日の記録が見つからず、例年の発表日と出来高の急増から推定した年。決算跨ぎお勧め度は過去の決算での値動き・業績・業界動向から採点した参考値で、売買を推奨するものではありません。

決算跨ぎお勤め度
★★★★★
4 / 5
理由は右のサマリー

サマリー

決算パターン

2Q決算の翌日は過去5年で上4・下1、平均+2.7%。通期を下方修正した2023年も+6.0%と悪材料に強く、高配当が下値を支える。

通期修正の可能性

1Q経常1.2億円で通期予想8億円の15.3%と前年（25.2%）を下回る。金価格の高騰で売上は81%増えたが、営業利益は66%減。2Q決算での通期経常の修正は過去3期で下方1回・据置2回で、今回は下方修正リスクに注意。コンセンサスはなし。

前回決算以降の値動き

1Q決算（7/24 14:00）当日は-13.9%。8月以降は4,600～5,100円台まで戻したが、10月中旬からのAI関連株安で下落し、決算前は4,200円と1Q発表日比-5.1%。

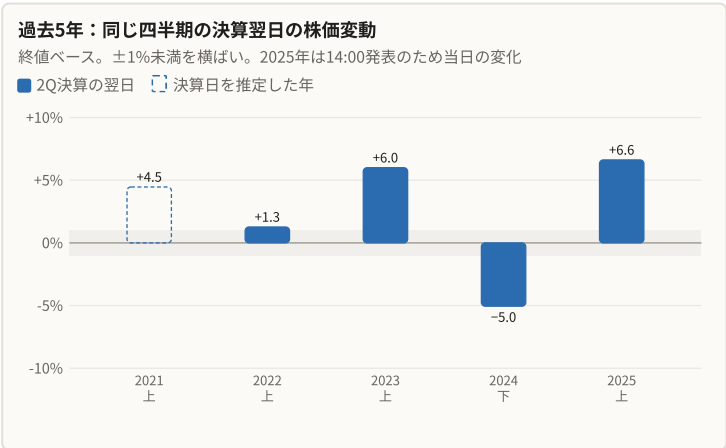
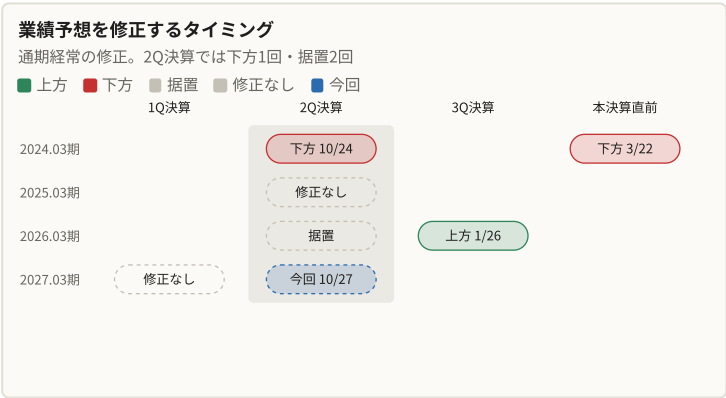
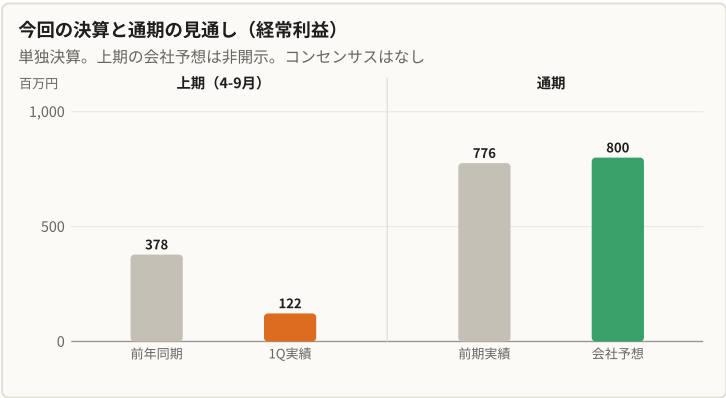
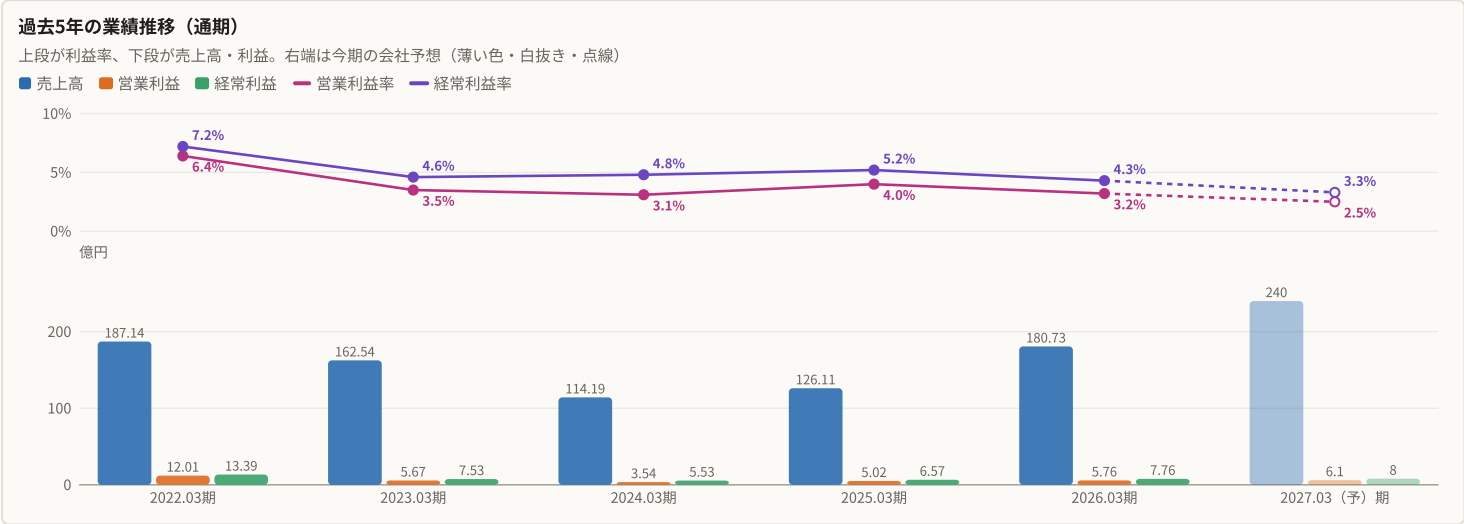
バリュエーション

PERは自社の過去5年で最も低い水準（相対4.5）で、配当利回りは5%台（今期は30円増配の予定）。株主還元が下値を支える。為替は予約で影響を抑えており、前提レートの開示はない。

業界・関連銘柄

半導体パッケージやコネクタ向けの金めっき薬品が主力で、生成AI関連の需要が伸びる一方、金価格の高騰で利益率が下がっている。イビデンは10/29、東京応化は11/10、メックは11/11に決算。

株価 4,200.0円	PER（予） 11.3倍	PBR 1.10倍	PSR（予） 1.06倍	配当利回り（予） 5.48%	信用倍率 一倍	想定為替レート —
----------------	-----------------	--------------	-----------------	-------------------	------------	--------------



出典：マネックス証券 銘柄スカウターライト（業績・コンセンサス・PER水準）、株探（株価指標・ニュース）、株予報Pro（業績修正履歴）、Yahoo!ファイナンス（株価）、各社開示。想定為替レートは前回決算の決算短信・説明資料に記載された前提レート（記載がない会社は「—」）。翌日変動の「推定」は決算日の記録が見つからず、例年の発表日と出来高の急増から推定した年。決算跨ぎお勤め度は過去の決算での値動き・業績・業界動向から採点した参考値で、売買を推奨するものではありません。

決算跨ぎお勧め度

★★★★☆

3/5

理由は右のサマリー

サマリー

決算パターン

2Q決算の翌日は過去5年で上2・下2・横ばい1、値幅は平均±2.8%と大型株らしく小さい。通期予想は本決算では出さず1Q決算で初めて開示し、その後は期中にはほぼ動かさない（直近3期は修正ゼロ）。2Q決算はサプライズが出にくい型。

通期修正の可能性

1Q経常1,921億円で通期予想7,700億円の25.0%（前年25.9%）。コンセンサス7,994億円は会社予想を3.8%上回り、上期コンセンサス4,063億円には7-9月期で2,142億円が必要（1Qは1,921億円）。9/15に配当を20円増額したが、通期は据置が基本線。

前回決算以降の値動き

1Q決算（7/24）の翌日は-8.3%（6,702→6,146円）。その後の戻りは6,410円（8/12）、6,321円（10/6）と鈍く、決算前は5,783円と1Q発表日比-13.7%。7/1の7,259円からは約2割安で、期待はかなり剥落している。

バリュエーション

PERは自社の過去5年で中位（相対60.5）。信用倍率は18倍台と買い残が積み上がり、上値では戻り売りが出やすい。想定為替1ドル160円程度（7月以降）に対し足元は157円台（10/26）で約3円の円高。感応度は開示されておらず試算はしないが、下期の為替は小幅な逆風。

業界・関連銘柄

子会社の信越ポリマーが10/26に半導体関連容器の好調で通期経常を13%上方修正・増配。社長は7月に半導体材料で「生産能力を上回る供給量を要請されている」と発言（ニュースイッチ）。一方、前週は米国でAI関連株が急落。SUMCOは11/11、東京応化は11/10に決算。

株価

5,783.0円

PER（予）

20.0倍

PBR

2.31倍

PSR（予）

4.25倍

配当利回り（予）

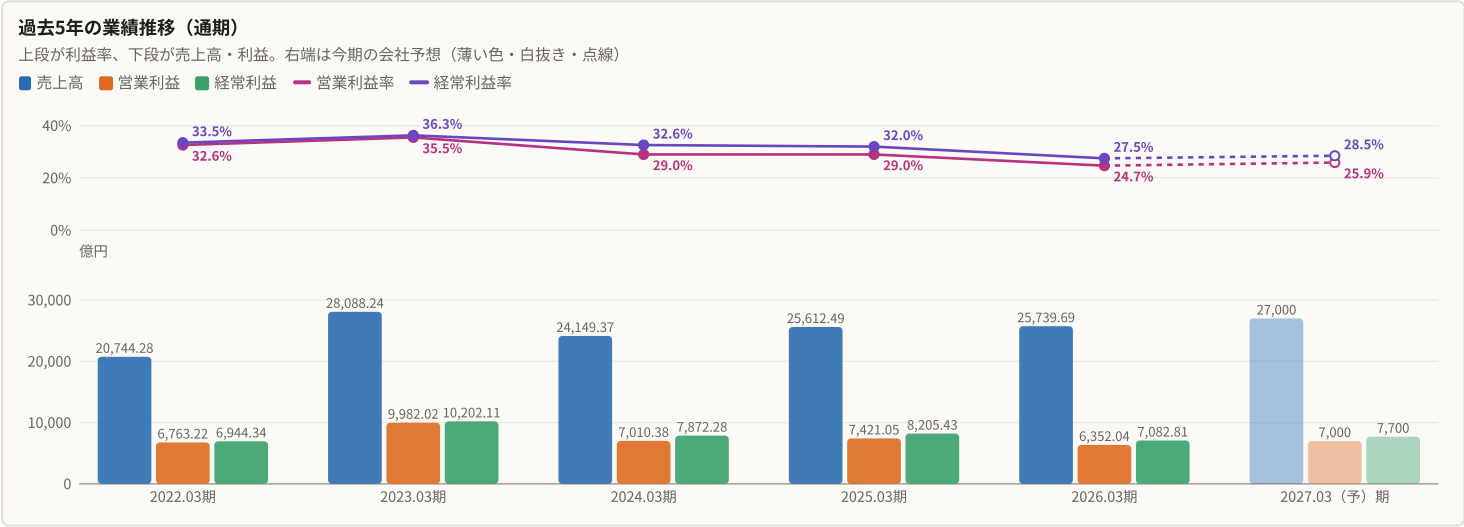
2.35%

信用倍率

18.41倍

想定為替レート

160円/ドル（1Q短信・7月以降）



決算跨ぎお勤め度
★★★★☆
3/5
理由は右のサマリー

サマリー

決算パターン

3Q決算の翌日は過去5年で上2・下3、幅値は平均±7.4%と食品株としては大きい。2024年は+15.3%と急騰した一方、通期を上方修正した2025年は-4.0%と出尽くしになった。

通期修正の可能性

上期経常379億円は通期予想670億円の56.5%（前年57.6%、前年は最終的に予想比104.6%で着地）。通期予想は2Q決算で据え置いたが、過去3年は毎年期中に上方修正。3Q決算での修正は前年の1回のみ。コンセンサス683億円は会社予想を1.9%上回る。

前回決算以降の値動き

2Q決算（7/31）の翌日は-1.5%。8月以降は右肩上がりで、決算前は3,940円と2Q発表日比+17.3%の高値圏。年末の配当取りを見込んだ買いも入っている。

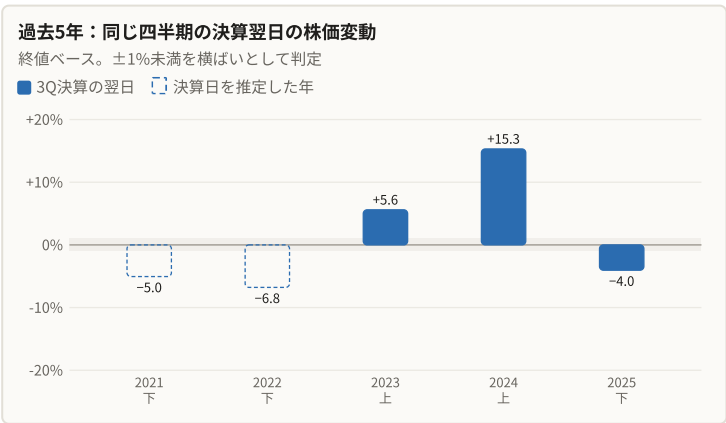
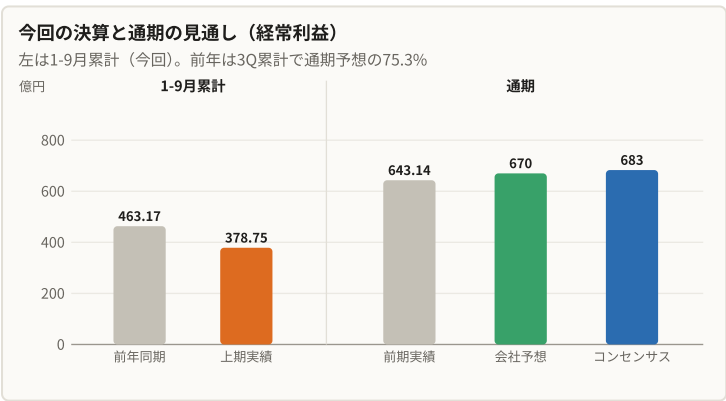
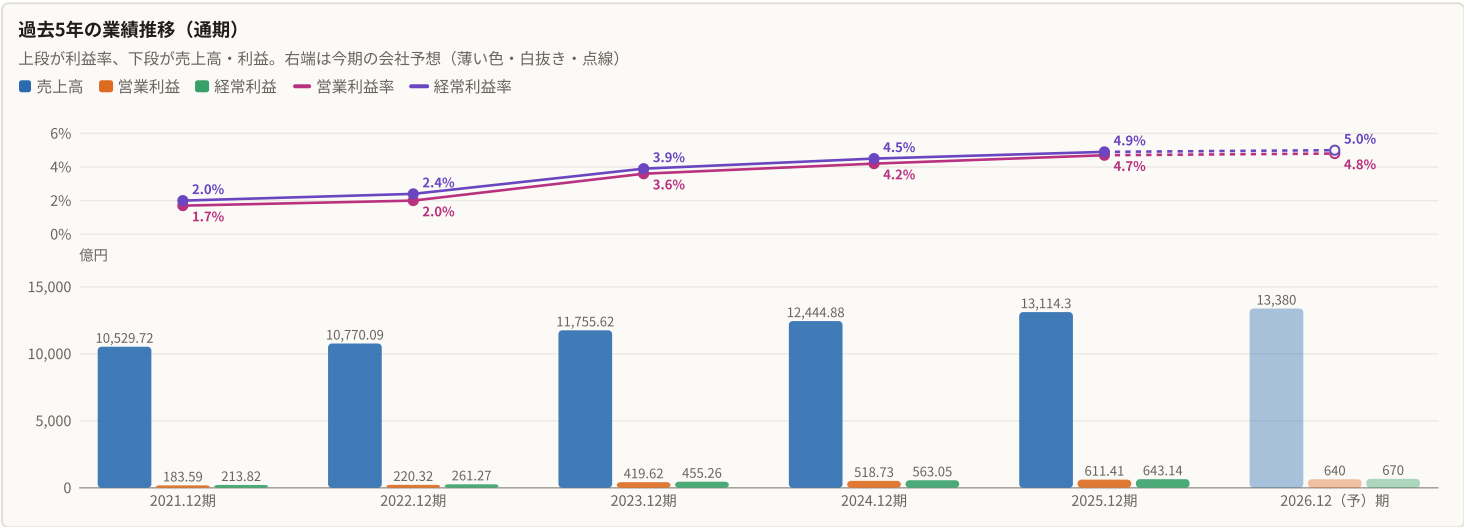
バリュエーション

PERは自社の過去5年で低い水準（相対18.5）。信用倍率0.64倍と売り残が多く、好決算なら踏み上げの可能性はある。

業界・関連銘柄

子会社の不二家が10/26に今期経常を一転39%減益に下方修正（カカオなど原材料高）。日清製粉Gは10/28、カルビーは11/6に決算で、小麦・原材料コストの動向が共通の焦点。

株価 3,940.0円	PER（予） 18.3倍	PBR 1.65倍	PSR（予） 0.65倍	配当利回り（予） 1.52%	信用倍率 0.64倍	想定為替レート —
----------------	-----------------	--------------	-----------------	-------------------	---------------	--------------



出典：マネックス証券 銘柄スカウターライト（業績・コンセンサス・PER水準）、株探（株価指標・ニュース）、株予報Pro（業績修正履歴）、Yahoo!ファイナンス（株価）、各社開示。想定為替レートは前回決算の決算短信・説明資料に記載された前提レート（記載がない会社は「—」）。翌日変動の「推定」は決算日の記録が見つからず、例年の発表日と出来高の急増から推定した年。決算跨ぎお勤め度は過去の決算での値動き・業績・業界動向から採点した参考値で、売買を推奨するものではありません。

決算跨ぎお勤め度

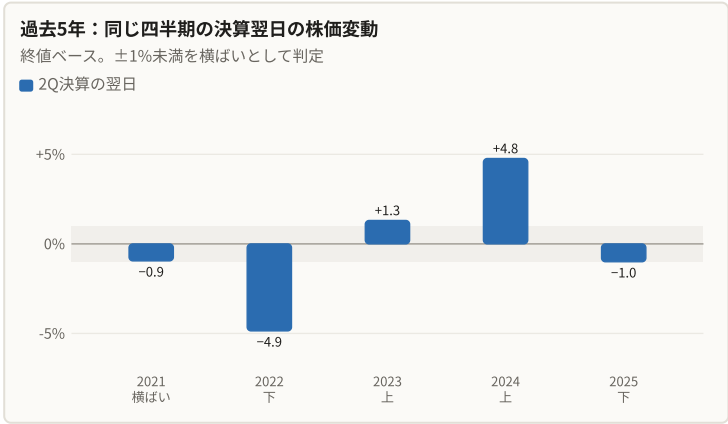
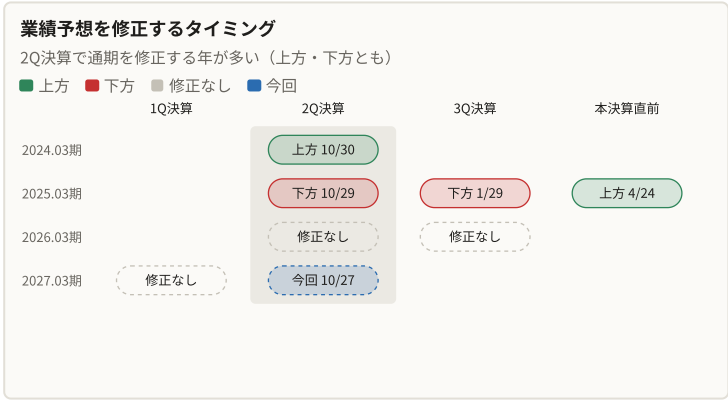
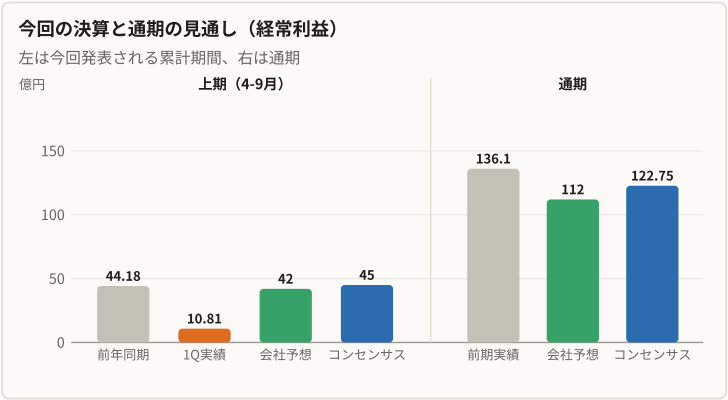
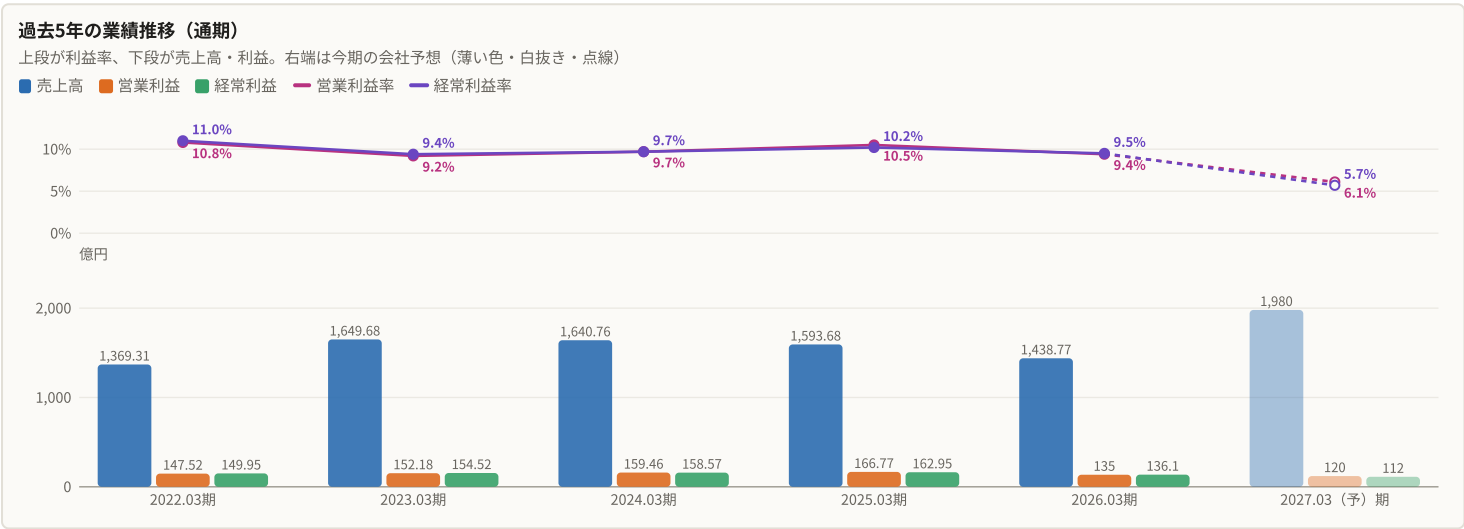
★★★★☆

3/5

理由は右のサマリー

サマリー	
決算パターン	2Q決算の翌日は過去5年で上2・下2・横ばい1、値幅は平均±2.6%と小さい。通期を12%下方修正した2024年が+4.8%と、悪材料を事前に織り込んでいると上がる傾向。
通期修正の可能性	2月のTOBでBr.HDを子会社化し、今期は売上が38%増える一方、買収関連費用で経常は18%減益の予想。1Q経常10.8億円は上期予想42億円の25.7%と前年並み。前期は会社予想を15%上回って着地しており、通期コンセンサス122.8億円は会社予想を9.6%上回る。
前回決算以降の値動き	1Q決算（7/27）の翌日は-2.1%。その後は2,830〜3,040円のレンジで推移し、決算前は2,927円と1Q発表日比-2.6%。期待も失望も乗っていない。
バリュエーション	PBR1倍割れ・配当利回り4%台と割安感がある一方、減益予想のためPERは自社の過去5年では高め（相対79.5）。
業界・関連銘柄	国土強靱化や橋梁の老朽化対策で受注環境は良好。同業の川田テクノロジーズは11/10、大成建設は11/11に決算。

株価 2,927.0円	PER（予） 14.0倍	PBR 0.87倍	PSR（予） 0.64倍	配当利回り（予） 4.44%	信用倍率 5.11倍	想定為替レート —
----------------	-----------------	--------------	-----------------	-------------------	---------------	--------------



出典：マネックス証券銘柄スカウターライト（業績・コンセンサス・PER水準）、株探（株価指標・ニュース）、株予報Pro（業績修正履歴）、Yahoo!ファイナンス（株価）、各社開示。想定為替レートは前回決算の決算短信・説明資料に記載された前提レート（記載がない会社は「—」）。翌日変動の「推定」は決算日の記録が見つからず、例年の発表日と出来高の急増から推定した年。決算跨ぎお勤め度は過去の決算での値動き・業績・業界動向から採点した参考値で、売買を推奨するものではありません。

決算跨ぎお勤め度
★★★★☆
2 / 5
理由は右のサマリー

サマリー

決算パターン

2Q決算の翌日は過去5年で下4・上1、平均-4.7%。上がったのは通期を上方修正した2022年（+7.9%）だけで、上期が大幅増益でも通期据置なら売られる「出尽くし」型（2025年は上期経常76%増でも-7.5%）。

通期修正の可能性

1Qだけで経常415億円、通期予想830億円の49.9%に到達（前年30.9%）。コンセンサス914億円は会社予想を10.2%上回る。ただ通期予想は2Q決算では動かさず、過去3期とも本決算直前の4月に上方修正。今回も据置が基本線。

前回決算以降の値動き

1Q決算（7/28）の翌日は+19.8%と急伸し、その後も4,000円台を保って4,581円（10/16）まで上昇。決算前は4,343円と1Q発表日比+23.1%で期待は高い。10/8に国内証券が割安感解消で格下げ、10/22に不正アクセスによる顧客情報漏えいを公表。

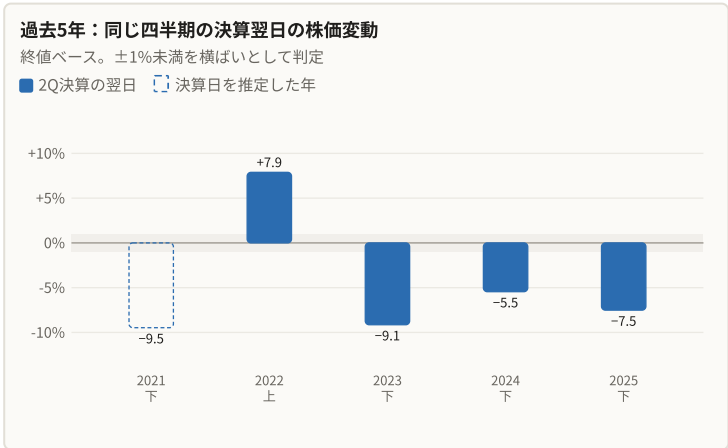
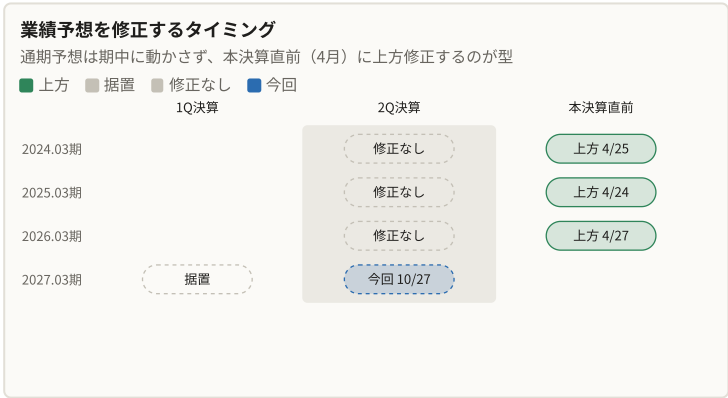
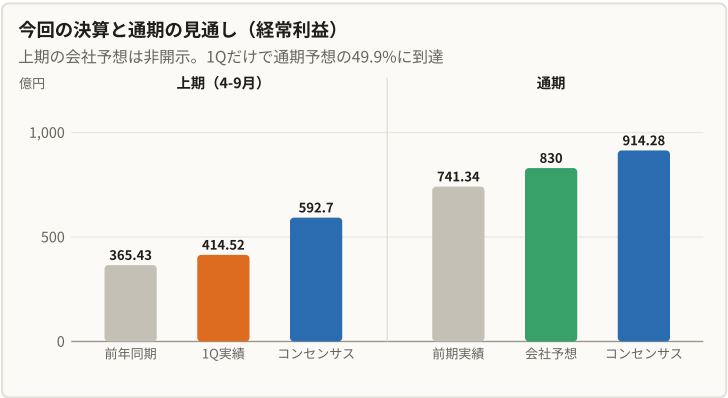
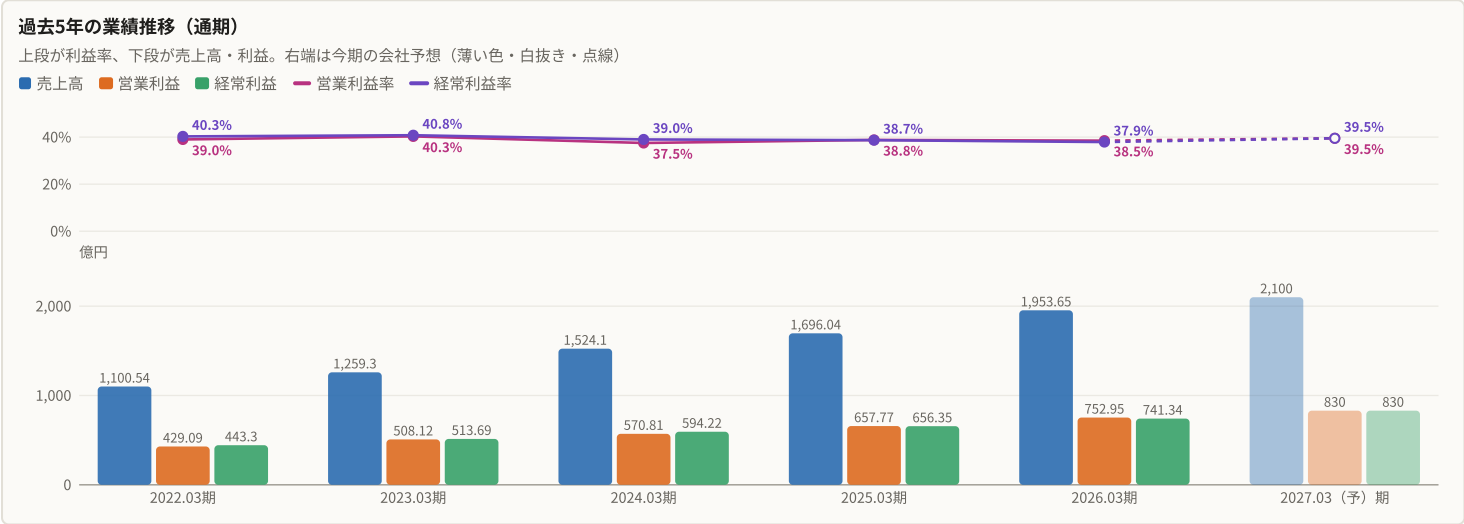
バリュエーション

PERは自社の過去5年で中位（相対60.2）だが、PBR6倍台・PSR11倍と株価の評価は高め。決算短信に為替の前提レートの記載はない。

業界・関連銘柄

同業のコーエーテクモHDは10/26に通期経常を21%上方修正し、配当も増額。スクエニHDは11/11に2Q決算、バンナムHDは2Qの日程が未発表。ゲーム各社の業績は好調で、地合いは追い風。

株価 4,343.0円	PER（予） 31.3倍	PBR 6.34倍	PSR（予） 11.02倍	配当利回り（予） 1.06%	信用倍率 1.26倍	想定為替レート —
----------------	-----------------	--------------	------------------	-------------------	---------------	--------------



出典：マネックス証券 銘柄スカウターライト（業績・コンセンサス・PER水準）、株探（株価指標・ニュース）、株予報Pro（業績修正履歴）、Yahoo!ファイナンス（株価）、各社開示。想定為替レートは前回決算の決算短信・説明資料に記載された前提レート（記載がない会社は「—」）。翌日変動の「推定」は決算日の記録が見つからず、例年の発表日と出来高の急増から推定した年。決算跨ぎお勤め度は過去の決算での値動き・業績・業界動向から採点した参考値で、売買を推奨するものではありません。

決算跨ぎお勤め度

★★★★☆

2 / 5

理由は右のサマリー

サマリー

決算パターン

3Q決算の翌日は過去5年すべて下落し、平均-4.8%。3Q決算で通期予想を下方修正する年が多く（直近2年連続）、据置の2023年も-4.7%。年間で最も売られやすい四半期。

通期修正の可能性

7/27の2Q決算で通期税引前を4,830→4,920億円に上方修正。上期進捗51.2%は前年（47.7%）を上回るが、中東情勢（-346億円）とメモリ価格高騰の影響を織り込んでいる。コンセンサス4,884億円は会社予想をやや下回り、上振れ期待は大きくない。

前回決算以降の値動き

2Q決算の翌日は-5.7%。9/9の4,317円を底に切り返し、決算前は4,949円と2Q発表日比+4.2%、7月以降の高値圏。半導体露光装置（KrF下期倍増計画）やカメラ好調への期待が先行している。

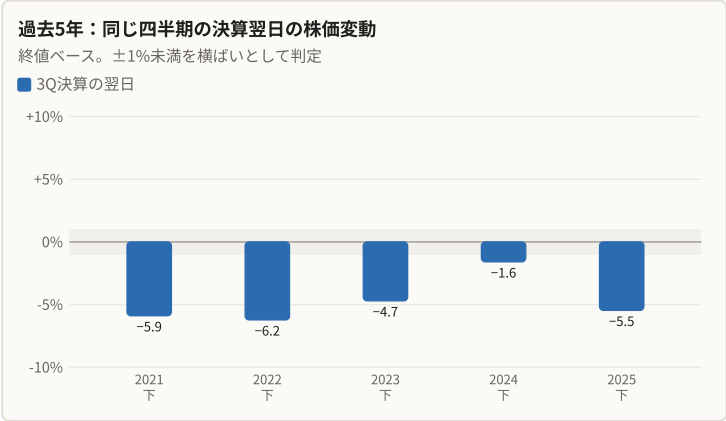
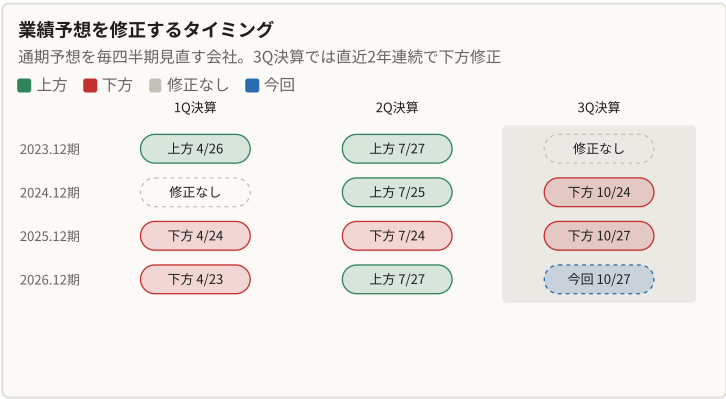
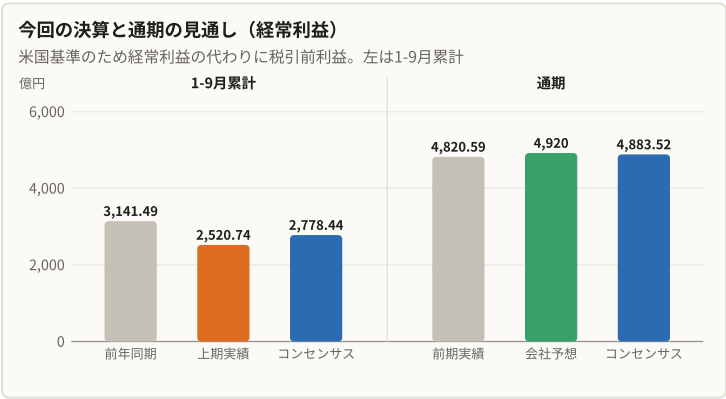
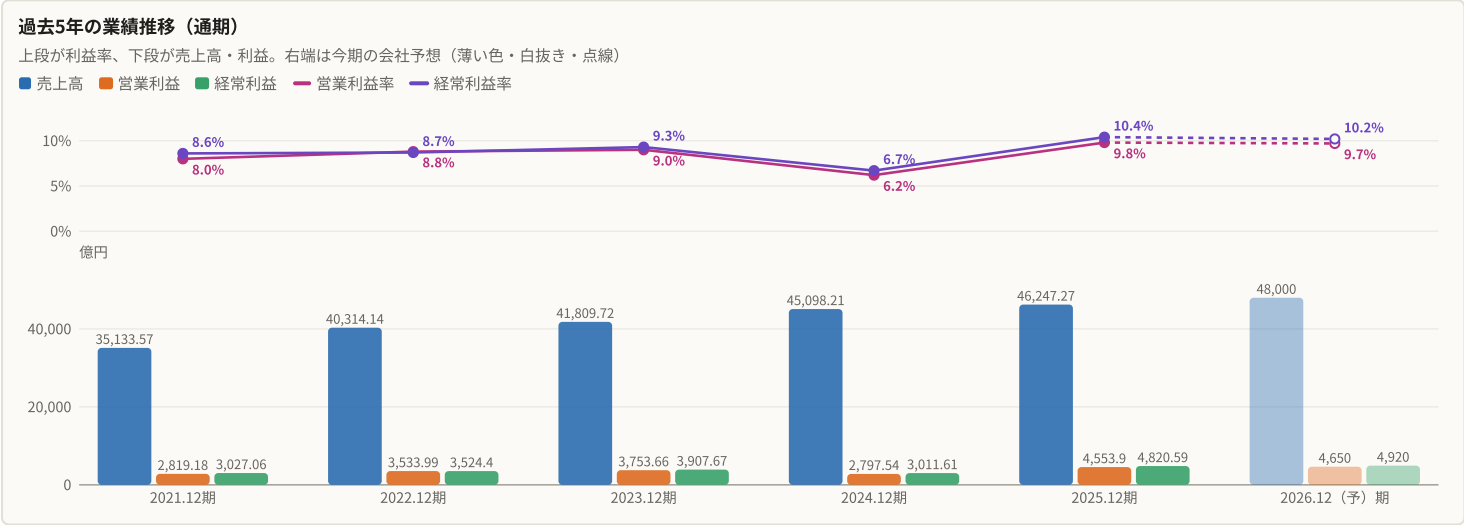
バリュエーション

PERは自社の過去5年で低め（相対42.3）。想定為替1ドル155円（下期）に対し足元は157円台（10/26）で約2円の円安。同社の感応度（ドル1円で下期営業利益15億円）で単純計算すると、通期営業予想4,650億円は4,685億円となり0.8%の上振れ。税引前でも会社予想4,920億円が約4,955億円となり、コンセンサス4,884億円を1%強上回る。

業界・関連銘柄

販売子会社のキヤノンMJは10/26に1-9月期経常21%増益で着地（7-9月期も26%増）。半導体露光装置はAI向けメモリ投資で増産中。ニコンは11/5、リコーは11/6に決算。

株価 4,949.0円	PER（予） 12.1倍	PBR 1.18倍	PSR（予） 1.38倍	配当利回り（予） 3.23%	信用倍率 2.71倍	想定為替レート 155円/ドル（2Q資料・下期）
----------------	-----------------	--------------	-----------------	-------------------	---------------	-----------------------------



出典：マネックス証券 銘柄スカウターライト（業績・コンセンサス・PER水準）、株探（株価指標・ニュース）、株探Pro（業績修正履歴）、Yahoo!ファイナンス（株価）、各社開示。想定為替レートは前回決算の決算短信・説明資料に記載された前提レート（記載がない会社は「—」）。翌日変動の「推定」は決算日の記録が見つからず、例年の発表日と出来高の急増から推定した年。決算跨ぎお勤め度は過去の決算での値動き・業績・業界動向から採点した参考値で、売買を推奨するものではありません。

決算跨ぎお勤め度

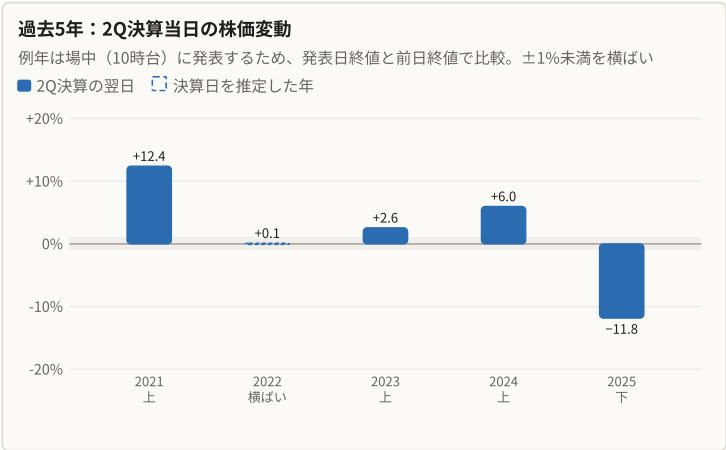
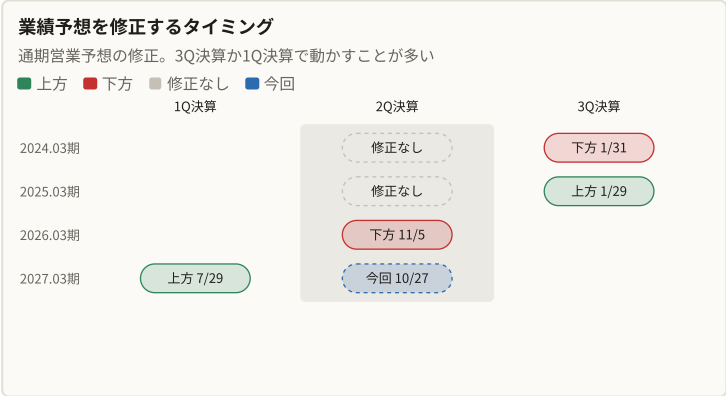
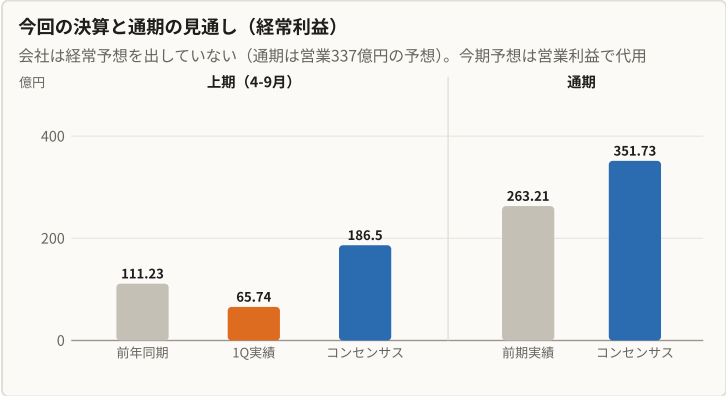
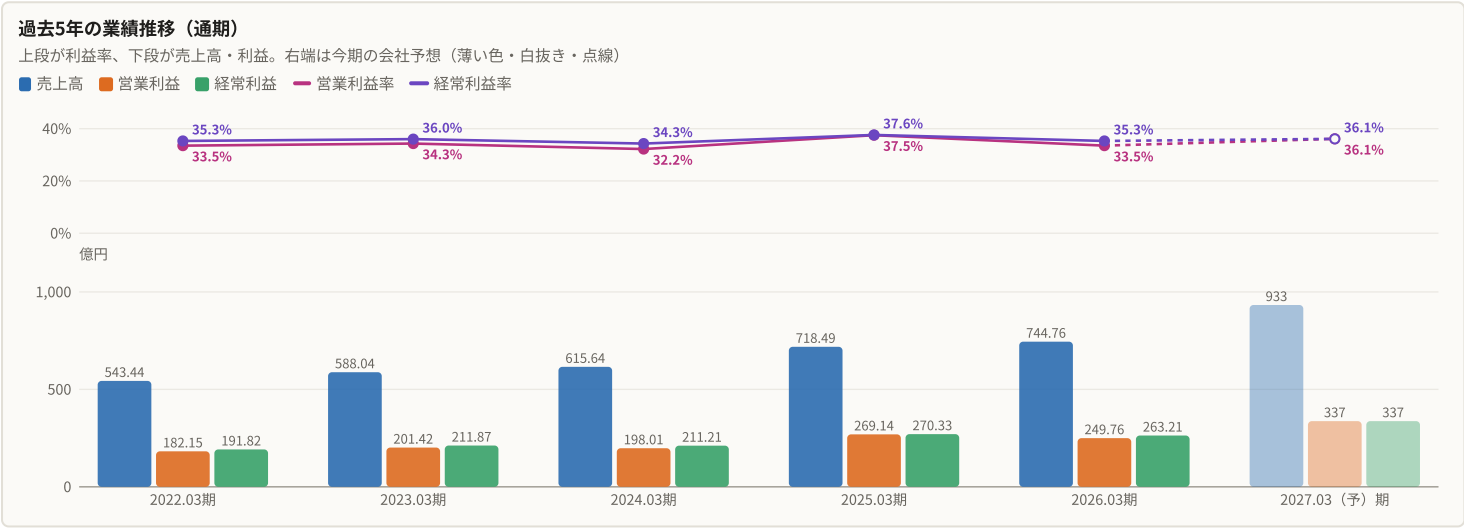
★★★★★

2/5

理由は右のサマリー

サマリー	
決算パターン	2Q決算（例年は場中発表）当日の株価は過去5年で上3・横ばい1・下1。値幅は平均±6.6%と大きく、通期を下方修正した2025年は-11.8%、上方修正の2021年は+12.4%と修正の方向がそのまま出る。
通期修正の可能性	7/29の1Q決算で通期営業を297→337億円（+13%）、上期営業を135→148億円に上方修正済み。1Q営業63億円は上期予想の43%で、7-9月期に85億円（1Qの1.3倍）が必要とハードルは高め。経常の会社予想は非開示で、コンセンサスは経常352億円。
前回決算以降の値動き	1Q決算当日は-5.0%。8/13に62,170円まで上昇後、AI関連株の調整で10/15に-10.1%と急落し、決算前は46,410円と1Q発表日比-7.7%、8月高値から-25%。期待はかなり剥落している。
バリュエーション	経常・純利益の会社予想がないためPERは出ない。信用倍率23.9倍と買い残が積み上がっており、好決算でも上値では戻り売りが出やすい。想定為替1ドル158円に対し足元は157円台（10/26）でほぼ想定どおり（約1円の円高）。感応度は開示されていない。
業界・関連銘柄	AIデータセンター向け光通信部品や半導体製造装置向けセラミックスが伸びる一方、10月中旬からAI関連株が調整。村田製作所・日本特殊陶業は10/30、京セラは11/2に決算。

株価 46,410.0円	PER（予） 一倍	PBR 3.78倍	PSR（予） 6.15倍	配当利回り（予） 0.24%	信用倍率 23.91倍	想定為替レート 158円/ドル（1Q短信）
-----------------	--------------	--------------	-----------------	-------------------	----------------	--------------------------



出典：マネックス証券 銘柄スカウターライト（業績・コンセンサス・PER水準）、株探（株価指標・ニュース）、株予報Pro（業績修正履歴）、Yahoo!ファイナンス（株価）、各社開示。想定為替レートは前回決算の決算短信・説明資料に記載された前提レート（記載がない会社は「—」）。翌日変動の「推定」は決算日の記録が見つからず、例年の発表日と出来高の急増から推定した年。決算跨ぎお勤め度は過去の決算での値動き・業績・業界動向から採点した参考値で、売買を推奨するものではありません。

決算跨ぎお勤め度

★★★★☆

2/5

理由は右のサマリー

サマリー

決算パターン

2Q決算の翌日は過去5年で上2・下2・横ばい1、値幅は平均±3.8%。通期予想を期中に動かさない会社で、決算は増益率の大小で評価が分かれる（上期17%増益の2025年は-5.3%）。

通期修正の可能性

1Q経常320億円は通期予想1,145億円の28.0%（前年も28.0%）。前期は会社予想を7.7%上回って着地し、今期予想も保守的とみられるが、期中に通期を修正した例は過去3期ゼロ（3Q決算での増配のみ）。コンセンサス1,176億円との差は2.7%。

前回決算以降の値動き

1Q決算（7/22）の翌日は-0.4%と無反応だったが、その後は一本調子に上昇し、10/21の業績観測報道で一段高。決算前は6,050円と1Q発表日比+44.9%で、好決算はかなり織り込まれている。

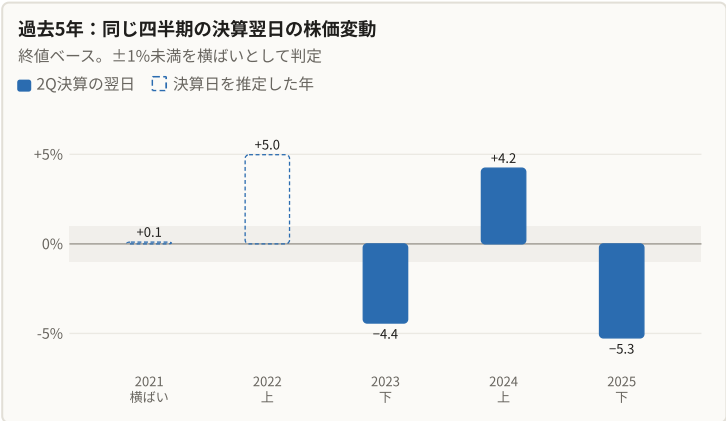
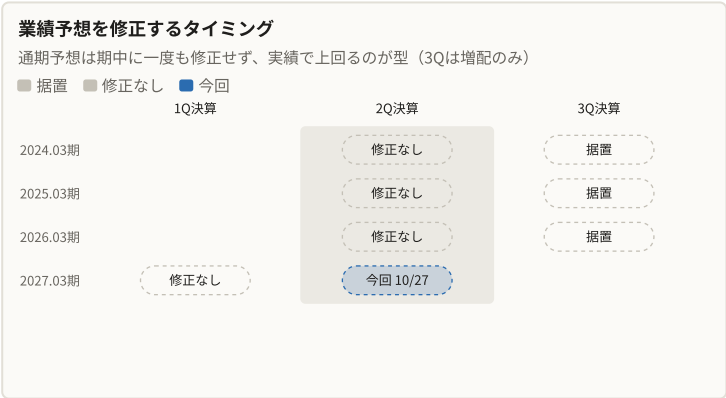
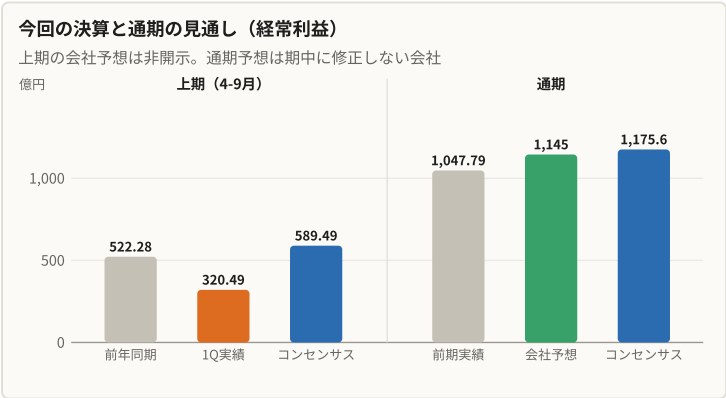
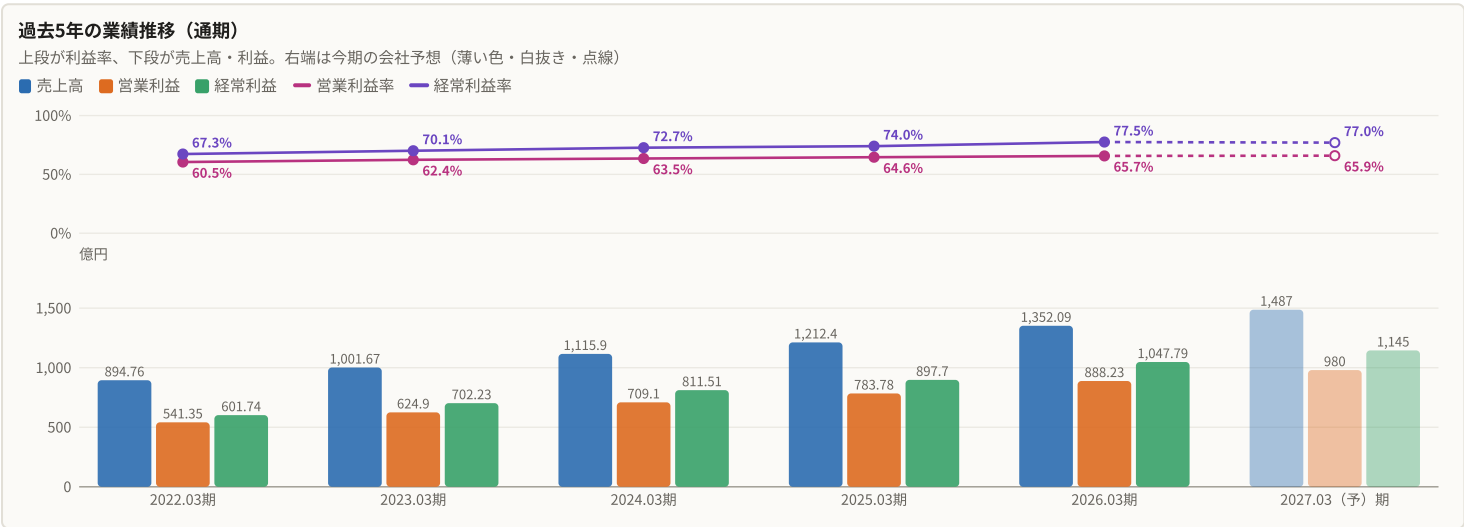
バリュエーション

PERは自社の過去5年で中位（相対41.0）だが、PSR20倍とソフトウェア株の中でも評価は高い。

業界・関連銘柄

中小企業向け会計ソフトのOBCが同じ10/27の15:00に2Q決算。大塚商会は10/30、TISは11/4に決算。企業のIT投資・DX需要は堅調。

株価 6,050.0円	PER（予） 31.6倍	PBR 5.26倍	PSR（予） 20.02倍	配当利回り（予） 1.55%	信用倍率 3.04倍	想定為替レート —
----------------	-----------------	--------------	------------------	-------------------	---------------	--------------



出典：マネックス証券 銘柄スカウターライト（業績・コンセンサス・PER水準）、株探（株価指標・ニュース）、株予報Pro（業績修正履歴）、Yahoo!ファイナンス（株価）、各社開示。想定為替レートは前回決算の決算短信・説明資料に記載された前提レート（記載がない会社は「—」）。翌日変動の「推定」は決算日の記録が見つからず、例年の発表日と出来高の急増から推定した年。決算跨ぎお勤め度は過去の決算での値動き・業績・業界動向から採点した参考値で、売買を推奨するものではありません。